

令和7年11月6日

各施設・管理者 様

京都市保健福祉局
健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課
介護ケア推進課長
(222-3800)

ツキノワグマの出没や遭遇に関する注意情報について（注意喚起）

平素は、本市の保健福祉行政に御理解、御協力を賜り、ありがとうございます。

全国でクマの出没件数が増加しており、人身被害も発生しております。

本市におきましては、現時点で人身被害は発生しておりませんが、目撃情報が増加傾向にあるため、農林分野を所管する産業観光局を事務局とする「京都市ツキノワグマ対策連絡会議」を設置し、庁内外の連絡体制を強化し、より一層の警戒を高めているところです。

秋から冬にかけては、冬眠期に向けてクマはエサを多く採取する時期でもあり、行動も活発になり、今後も出没が続く可能性があります。特にこれまで目撃情報があった地域に所在する施設におかれましては、外出の際は十分に注意してください。

特に早朝や夕方以降に人身被害が多い傾向がありますので、より一層注意をしてください。

1 クマと遭遇しないために

- ・ 地域でクマの出没情報がないか確認を
＜京都府ツキノワグマの出没マップ＞
<https://g-kyoto.gis.pref.kyoto.lg.jp/g-kyoto/PositionSelect?mid=676&mtp=pfm>
＜京都府防災・防犯情報メール配信システム＞
<https://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/mail.html>
※上記システムに御登録いただくことで、ツキノワグマ出没情報を受信できます。
- ・ 突然クマと遭遇しないよう自分の存在を知らせる（鈴やラジオ等、音が出るものを鳴らしておく）。
- ・ どんぐりなどエサが残っている場所も再び食べに来る可能性が高いので近づかない。
- ・ 子グマを見たら絶対に近づかない（必ず近くに親グマがいます。）。
- ・ 林道などで自動車から降りる際にはクラクションを数回鳴らしてから降りる。

2 クマと遭遇してしまった場合

- ・ あわてず、騒がない。興奮させない（大声を出さない。石や棒を投げない。）。
- ・ そっと下がる（背中を向けて走って逃げない。本能的にクマが襲ってくる場合があります。）。
- ・ 遭遇した場合は、安全を確保のうえ、京都府京都林務事務所（075-451-5724）まで目撃日時、場所等の情報提供をお願いします。

＜参考情報＞

クマ出没対応マニュアル（環境省）

<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/>

クマに注意！－思わぬ事故をさけよう－（環境省）

<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/kids/full.pdf>

ツキノワグマ出没や遭遇に対しての注意情報（京都府）

<https://www.pref.kyoto.jp/noson/news/251008kuma.html>